※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　工業科（電気系列）

教科	工業	科目	電気実習ｅ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書							
副教材等	自作プリント教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

電子回路および測定器に関する基本的知識と技術を身につけます。
電子回路の基礎的な実習内容となっていますので、しっかり取り組むことが重要です。

２　学習の到達目標

〇電子回路や自動制御、計測機器の測定器や基礎的な電気工事に関する知識と技術を実際の作業を通して習得する。
〇電子回路や自動制御、計測機器の測定器や基礎的な電気工事に関する知識と技術を活用し、創造する力を身につける。
〇主体的に学習課題を提起し、実習諸課題に取り組む態度・姿勢を醸成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	計測実験で各分野の基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	計測実験で諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用した適切な判断および、創造的な表現能力を身につけている。	電気実験の原理や機器の使用方法、機器の操作方法、電気工事に興味・関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取り組む姿勢および、実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	電子実験	〇ダイオードの特性 〇トランジスタの特性 〇整流回路の特性	a:基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、電子部品の意義や役割を理解したうえで、適切な取り扱いができる。 b:電子回路の基礎的知識・技術を活かし、回路配線手段および測定機器の読み取りを自ら考	学習状況の観察 レポートの内容 自己評価	学習状況の観察 レポートの内容 自己評価・相互	学習状況の観察 受講態度の観察 自己評価

※令和４年度以降入学生用

		○発振回路の特性 ○演算増幅器の特性 ○微分・積分回路の特性 ○論理回路	え、特性データより得た結果を考察することができる。 c:各種の測定原理に関心を持ったうえで、実験結果に疑義を提示し、意欲的に問題解決に向けて取り組んでいる。		評価	

※ 表中の観点について a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度